

全国四十七都道府県産掛け米仕込み



新時代の絆を醸す

「興こし酒」

興酒
プロジェクト

興こし酒プロジェクト～第三章～ 日本全国の絆の結晶

地域に寄り添う信用金庫では、全国のネットワークを活かして、2012年から「よい仕事おこしフェア」と題し、社会貢献を目的としたビジネスフェアを毎年開催して、被災地の復興応援に取り組んでいます。

2017年の「よい仕事おこしフェア」では、信用金庫の絆で結ばれた、岩手・宮城・福島・熊本の被災4県の復興のシンボルとして、「興こし酒プロジェクト」に取り組み、4県産のお米が見事に融合して、興こし酒“絆結”（きゅ）が生まれました。

2018年の「よい仕事おこしフェア」では、「興こし酒プロジェクト～第二章～」として“絆結”に加え、絆の輪を全国に広げ、47都道府県産のお米をブレンドして“絆舞”（きずなまい）を造りました。

そして、2019年は「興こし酒プロジェクト～第三章～」として、3年目の“絆結”を造るとともに、絆舞の拡大版ともいべき、日本全国47都道府県から123地域のお米をブレンドした、純米大吟醸「絆舞令和」が誕醸しました。

新時代の絆を醸す、興こし酒「絆舞令和」を酌み交わしながら、日本全国の強い絆を感じながら、明るく元気な日本の未来について想いを馳せていただければ幸いです。

四十七都道府県産掛け米仕込み興こし酒

絆舞
令和

“絆舞”の命名には、飲めば思わず舞い踊りたくなるようなお酒に仕上がって欲しいという願いが込められています。また、「舞(まい)」と「米(まい)」を掛けており、「絆米」、まさに「お米の絆」であり、47都道府県のお米が絆で結びついたことで出来上がったお酒であることを表しています。

4県産のお米をブレンドし復興創生の想いが 込められた興こし酒 絆結(きゅ)

岩手、宮城、福島、熊本の各県で収穫したお米をブレンドし、復興創生への願いやこれまでの支援に対する感謝の気持ちを込め、明るく未来へ進む絆の結晶として、興こし酒“絆結”（きゅ）は誕生しました。“絆結”は、震災をきっかけに各地の人々が強い絆を結んでほしい、日本酒ならではの「きゅっ」と一杯飲んで欲しいという思いから名付けられました。“絆結”を酌み交わしながら、明るく元気な日本の未来について想いを馳せていただければ幸いです。

絆結

